

## Well-Being Initiative、国際広告祭「カンヌライオンズ」で金賞

世界最大の広告祭「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル 2023」において、日本経済新聞社と電通が主宰する「Well-Being Initiative」が、「クリエイティブ・ビジネス・トランスフォーメーション」部門で金賞を受賞しました。国内総生産（GDP）を補うものとして心身の健康や幸福を指す「ウェルビーイング」を加味して豊かさを測定する「ウェルビーイング指標（GDW、国内総充実）」の開発を推進したことなどが評価されました。



（6月22日、フランス南部カンヌで開かれた表彰式）

「クリエイティブ・ビジネス・トランスフォーメーション」部門は、ビジネスの在り方を変革する独創的な取り組みを表彰します。Well-Being Initiativeは、ウェルビーイングの概念とそれを測る新指標を社会に広め、経営に生かすことを目指し、2021年3月、公益財団法人Well-being for Planet Earth（東京・千代田）や参画企業とともに創設しました。ウェルビーイングと企業価値を考える「経営委員会」、ウェルビーイングの新たな国際標準を検討する「社会指標委員会」、社会のウェルビーイングを高める象徴的活動を進める「シンボリックアクション勉強会」などの取

り組みを進めています。同イニシアチブは「PR」部門でも銀賞、「SDGs」部門でも銅賞を受賞しました。

カンヌライオンズは毎年6月に南仏カンヌで行われる広告コミュニケーションのフェスティバルです。1954年に設立し、毎年2万点超のエントリー作品が、映像や雑誌・新聞広告、デジタル活用など全30部門でそれぞれグランプリや金・銀・銅賞を競っています。賞の表彰のほか、200を超えるセミナーや交流会なども開かれ、1週間の会期中には約100カ国から1万5000人以上の来場者が訪れます。2019年から日本事務局を日本経済新聞社が務めています。

受賞について内山清行メディアビジネス統括は「栄誉ある賞をいただき、大変、うれしく思います。プロジェクトに賛同いただいた企業や有識者をはじめ、関係者の皆さまに感謝申し上げます。日本経済新聞社は『考え、伝える。より自由で豊かな世界のために。』というパーパスのもと、社会課題解決に貢献するプロジェクトを多く手がけてきました。今後も、経済成長と真の豊かさを両立させる方策を皆さまと考える参ります」と述べました。

イメージ動画を載せた日経電子版記事は下記 URL からご覧になれます。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCB227OP0S3A620C2000000/>

---

#### 日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年以上にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は164万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は99万で、有料・無料登録を合わせた会員数は610万を上回っています。

#### 本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 [TEL:\(03\)3270-0251](tel:0332700251) (代表)